

これからの小中学校についての意見交換会記録

【令和5年1月18日（水）南部構造改善センター】

【これからの小中学校に関すること】

- ・説明があったが、選択肢の中に現状維持というのがないのはおかしい。
- ・白須賀中学校の評議員をしているが、今年は部活で、野球部と男子バレー部が県大会に出場した。合同体育祭や文化祭などにも参加し、人数が多い方が子供のためにいいものだなと、最初は思っていたが、学校の様子を見てみると、子供がいきいきと、積極的に行動して、みんな仲良くやっているから、40人がいいのか、三十数人がいいのか分からなくなった。
- ・時代の流れからいうと、統合というのは、ある程度必要ではないかと思うが、白須賀の場合、出ていくわけなので、受け入れる側の小・中学校が本当に平等に受け入れてくれるのか、それが心配である。
- ・子供たちが、嫌な目にあったり、いじめなど問題があったりするので、いろいろな角度から調査して、本当に統合がいいのか、それとも現状維持がいいのかということ、綿密にやってほしい。
- ・統合となると、親としても、遠くなればお迎えとか、通勤するにも生活する上においても、いろいろ問題が出てくるので、その辺の意見を聞いて良い方法でお願いしたい。
- ・できるだけ地域を守りたい、活性化させたいとこういう気持ちをずっと持ち続けている。地域コミュニティの拠点である小・中学校は、歴史の町白須賀にとって最も重要な施設であるので、存続を強くお願いしたい。
- ・白須賀になんとか学校を残せないかなという観点から、特別教育の充実という付加価値をつけた小中一体型の利点を生かした教育活動を目指すという案を、徹底して追求していただけるとありがたい。
- ・人数が少なくなることについては、逆にきめ細かさという点では、メリットというふうに捉えればいいと思う。どこが限界かなという気持ちはあるが、保護者の皆さん、若い人の意見も聞いた中で、できれば存続してほしい。
- ・白須賀は、小中学校隣接しているので、施設を上手に使えば、いい使い方ができると思う。学校を残すということについて前向きに検討してほしい。
- ・20人以下の固定されたメンバーで、固定された世界の中で、子供をそのまま生活させるのは、6年間だけでも長いなと思う。もっと少ない人数で学ばせるのはやはり不安である。
- ・正直、白須賀小学校をなくすとか、なくさないとかにはそんなに興味はなく、ただただ子供に適切な環境で、小学校、中学校を過ごしてほしいと、保護者と

して思っている。

- 中学校で部活の問題のことがあったが、今、地域を越えて、全てのものが動いている。塾もスイミングスクールも。部活動であれば、ジュニアユースみたいな形で、学区をこえた統合をやればいくらでもできる。
- 私たちが一番知らなければいけないのは、白須賀小学校で不登校の子は出てないということである。少人数で、校長先生が子供の名前を一人一人いえる。他の学校へ行ったら、学年が違ったらもう全然呼べない。他の学校の不登校の状況などを一切知らされていない状況で、こういう話が進んでいる。私にしてみれば、少人数の方がはるかにいい。
- 部活などは、地域を越えた活動が当たり前になっている。それを市が推進していけばいい。
- バッテリーパーク周辺は、新しく作ったところで、農地法の区分や規制は取り払われているので、あとは学校管理規則の学区の変更だけである。検討の余地があるはずである。
- 白須賀幼稚園に来年度から入れたいと思っていたが、入る予定のお子さんが少ないと聞いて、白須賀以外のこども園に入園させた。いろんな子と楽しくやっている様子が見受けられた。人数が多い少ないでメリット、デメリットがあると思うが、少ないことでのデメリットよりも、多いことでのデメリットの方が少ないという気がしている。
- 今3歳の娘の同級生が少ないということを考えると、幼稚園から小学校、9年間ずっと10人の仲間を過ごすというのは、仲良くなれば、それはいいことだが、少なからず仲間外れとか好き嫌いがあると思う。もし自分の娘が、弱い立場の方になった場合に、逃げられる環境がないというのは親としてはつらい。
- 白須賀にポテンシャルがあることも十分理解はしている。住宅施策、子育て施策、将来の白須賀にとって非常に大事だと思う。けれども、自分の娘の代の時代を考えると小6、中学校に上がる頃に間に合うのか、子供にとってプラスになっているのかというところは心配である。
- 子供の人数が少ないと本当にマイナスだと言う方が多い。それは保護者が、自分が生きてきた経験から、そんな人数が少ないところはどんなのだろうと不安になるのだと思う。
- 17人、18人の学級があるが、ものすごく仲良くて、楽しそうに過ごしている。30人の学級は、ごちゃごちゃである。息をするのも辛い。
- 子供たちに聞くと、少ない方がいい、みんな仲よしだから楽しいと言う。
- 10人になったときに困る、1人になったら困るというが、それも、その時にまた考えればいい。その時の子供たちにより良い環境を作ってあげることが大事である。

- ・心配な保護者には、学区をなくして人数の多い学校、人数が少ない学校、好きな方を選んで、もっとフリーな感覚で学校を決めてもいいのではないかなと思う。
- ・小さいからマイナスということはない。そういう環境で育ってきた子どもたちは、比べるものがないので、それはそれで幸せである。大人は自分が育ってきた環境で比べるものがあるから不安になる。
- ・白須賀小学校、中学校は、今のままが一番良い。人数が少ないのはマイナスだと見る見方は、間違っていると思う。少なくとも、工夫すれば運動会もできる。これまでそういうふうに来てきたし、これからは先生方は工夫しながらやっていくと思う。
- ・学区をなくして、保護者が、この学校に行きたいというところが自由に選択できる方向でやれば、白須賀小学校に来る子がいるかもしれない。そういった提案をしたいと思う。
- ・白須賀に育って、当時2クラスだった。高校へ行ったときに10クラスの大きな学校行ったが、別に気おくれすることもなかった。私は、その学校に、白須賀中学校から1人だけ、周りは誰も友達がいなかったけれども、すぐに友達ができた。だから、少人数だから友達が少ないとか、対応できないということはないと思う。
- ・重要なのは、何かあったときに、その環境を強制的に変えられるようなものがないというのは、つらいと思う。複数クラスが必要だと思う。子供に何かあったときの、リスク回避できる、そんな環境を整えるべきだと思う。

【意見交換会に関すること】

- ・今年度3回目ということで、当初から自治会の正副役員12人、声かけをして参加してきた。12人全員来ている。今日は市長が来てくださったということで、ありがたい。
- ・意見交換会では、教育の話もちろんだが、住宅施策、宅地施策というのが非常に話題に出る。そっちの方が問題ではないかというような具合の話が多くて、教育委員会が答えるには厳しいと思っていた。住宅宅地施策は、数年で解決できるようなことではない。長年培ってきた積み重ねによるものだから、なかなか難しいと思う。
- ・意見交換会への出席者について、若い人たち、保護者を中心とした若い人たちに来てもらって、話をしてもらいたいと思う。保護者、若い人たちには特別にそういう機会を作って、意見を聞いているという話があった。それはそれで、ありがたいが、我々がそういう声を直接聞く機会がないのが実情である。
- ・子供が少なくなったときに、子供たち、あるいはその保護者がどういうふうに

- 思うかというのが、正直、我々高齢者とか年寄り、あんまりピンときてない。
- ・参加人数が少なくて、Webアンケートになったとき、私も投稿した。今日は、保護者の方に会えるのかなと思って楽しみに来たが、見る限り少ない。時間的に都合がつかない方もいると思うが、興味があるのかないかわからない。そこは検証する必要があると思う。
 - ・令和8年から動き出さなければいけないという時点で、まだみんなに声が届いていないというのは、白須賀の方が自分の問題として捉えてないのか、もしくは、もうすぐ卒業するから、私には関係ないという方が多数いるのかと疑問。
 - ・私の下の子は多分、この表で見ると20人を下回るクラスに入る予定である。市の改革をして、10年後を待ってインフラ整備を待ってと言っていたら、もうそれは私には絵に描いた餅にしか見えない。中学校から統合するという意見はとても嬉しいニュースだった。
 - ・自分の子供の世代しか見えてないので申し訳ないが、今の小学生、幼稚園等の子供のためにいい案、いい施策の方をこれからも考えていただきたい。
 - ・そのときになってから考えればいいでは、遅いので、手を打てるうちに打たないと、手遅れになるということは、私も理解している。だから、市長の考え方には、賛成である。
 - ・私の子供が中学校で1クラスで過ごしている。子供に中学校がなくなるかもしれない、他の学校に通わないといけなくなるかもしれないと話してみたが、子どもは、どっちでもいいと言っていた。子供はあまり気にしていない。

【市の施策に関すること】

- ・岡山の奈義町は日本一の出生率で、7000人ぐらいの町。近隣市町と合併しないことを決定したが、子供が減ってきたので子育て支援に力を入れ、10年かけて一気に日本一になっている。10年かければ何とかなる。
- ・学校の統廃合というよりも、本腰上げて子育て支援に取り組んでいかないといけない。教育委員会が本腰上げて、湖西市の学校は素晴らしいと声を上げてほしい。
- ・市民が湖西市に住んでよかったな、湖西市に住んでいけば何とかなるなという明るいビジョンを持てるような話を誰かしてほしい。
- ・白須賀の状況を見ると、23号線バイパスや三遠南信道路の関係で、この辺りの地域の発展は必ずありえる。だから、現状維持というのは絶対有り得ると思っている。
- ・地域の発展を支えるような市の行政があれば、政策一個で、人口減少の状況は変わるのではないかという考えをもっている。
- ・白須賀地区だって住宅政策、工業政策をやれば、人口は減らずにいけそうだと

いうのは読める。そういう政策を設けていない。

- 白須賀地区の企業から税収が大きい。働きに来る人で昼間の人口は3倍ぐらいある。家が建てられるようになれば人は住むはず。そういう施策をしていない。
- もう少し現状維持の中で、人口を増やす政策と共に考えていただきたい。
- 下水処理場や産廃場を白須賀へ持ってきた時に、その時の市長は、なんとかすると言っていたが、何にもしていない。アメニティを作ったというが、白須賀ではない。そういう政策をしてこなかったツケが、今、来ている。
- 手遅れになる前に、住宅施策をしてほしい。
- 地域作りとしてこの問題を捉えている中で、子供がいなくなるというのは、やはり痛い。非常に痛い。学校がなくなると、その途端、その地域は過疎化するぞと知り合いに言われた。その言葉があるので、私はすごく恐怖感をもっている。
- まち作りという観点、地域作りの観点、地域創生の観点、そこに合わせて子供を育てる環境、教育環境をどう考えているか、本当は聞きたいところである。
- 湖西市の中でも、新居、鷺津、新所原などは、湖西の中でも住みよい街だから、人口の減少も少なく、子供の変動もない。白須賀はというと昭和の時代は、いろいろと店があって、生活するにも何とかあったが、平成に入ってから何もなくて、今は過疎化みたいになっている。
- 新居、鷺津、新所原にたまに行くと街が綺麗になっている。白須賀も木を切る、土手の草を刈るなどして、綺麗な状態を保ってくれば、多少は住んでくれる方も増えると思うから、その辺に予算を使って欲しい。
- 自治会として、春に要望を出しているが、利用する人が少ないから駄目だと言われる。鷺津などはそういうのが通る。たくさんの人たちが利用するので、優先的にやって、白須賀だと、人が通らないのでここは後回しだという言い方で、要望がなかなか通らない。